

日本映画と来館者の思い出で旅をする企画展



[企画展]

シネマ紀行—日本の風景

会期：7月1日（土）—10月1日（日）

企画展観覧料：一般200円、小・中学生100円

※鎌倉市民は無料（要証明書）

日本映画は、様々な日本の姿を映し出してきました。画面を通して描かれる、時代や社会、文化、人々の暮らしや各地の風景は、映像と切り離すことのできないほど深く結びついています。印象的なシーンや情景が作り手の意図を引き出し、時を越えて作品の魅力を高めています。

本展は、日本各地の風景や人々の暮らしを画面におさめてきた日本映画の魅力を、旅するように辿ります。その中には、今はもう見ることのできない日本の姿も含まれるでしょう。映画だからこそできる、時と場所を越えた自由な旅をお楽しみください。

◆見どころ◆

- ★ 上映する10作品で日本各地を旅することができます。展示室では上映作品の舞台を地図で一挙にご紹介。
- ★ 日本各地を舞台にした映画をスチル写真とポスターの展示でご紹介。鎌倉・湘南にゆかりのある作品は『晩春』、『麥秋』、『稲村ジェーン』、『ツイゴイネルワイゼン』、『天国と地獄』をご紹介します。
- ★ 来館者参加型企画「みんなで辿るシネマ紀行」では、来館者の皆さまに日本映画の思い出を自由にお書きいただけます。

◆上映作品◆

映画鑑賞料金：一般1000円、小・中学生：500円（展示観覧料含む）

- 『無法松の一生』（1958年、監督：稲垣浩）
- 『有りがたうさん』（1936年、監督：清水宏）
- 『古都』（1963年、監督：中村登）
- 『夫婦善哉』（1955年、監督：豊田四郎）
- 『集金旅行』（1957年、監督：中村登）
- 『家族』（1970年、監督：山田洋次）
- 『ゼロの焦点』（1961年、監督：野村芳太郎）
- 『点と線』（1958年、監督：小林恒夫）
- 『銀座カンカン娘』（1949年、監督：島耕二）
- 『飢餓海峡』（1965年、監督：内田吐夢）

※詳しい上映スケジュールは当館HP
(<https://kamakura-kawakita.org>) をご覧ください。

※チケットは原則として前月第2土曜日より販売⇒記念館窓口

※チケットが完売した場合はご入場いただけません。

お問い合わせ：鎌倉市川喜多映画記念館（担当：松本、馬場）

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL:0467-23-2500 / FAX:0467-23-2503

MAIL:contact@kamakura-kawakita.org

HP:<https://kamakura-kawakita.org>

◆トークイベント◆

【特別上映】

① 9月9日（土）13時-

『ゼロの焦点』上映+トークイベント

地図で辿る清張映画の焦点

おおひらばる ひろし

ゲスト：大平原 寛さん（編集者）

料金：一般1600円 / チケット発売：8月12日（土）

◆来館者参加型企画◆

「みんなで辿るシネマ紀行」

「あなたの思い出の日本映画」「あなたの気になるシネマ紀行」という2つのテーマで映画の思い出についてお書きいただくコーナーをご用意します。忘れられない映画の思い出や、“旅”をテーマに思い浮かんだ作品、本展で出会った気になる作品を挙げていただく企画です。9月16日のギャラリートーク番外編では、お書きいただいた思い出とともに日本映画をご紹介します予定です。ぜひご参加ください。

*ギャラリートーク：7月22日（土）、8月26日（土）、9月16日（土）
各日14時～（約40分）ギャラリートーク後に、旧和辻邸見学ツアー（希望者のみ）を行います。（10分程度）

*上映解説：7月29日（土）、8月12日（土）、9月24日（日）
各日午後の上映終了後（約40分）